

愛媛大学大学院農学研究科附属柑橘産業イノベーションセンターを開設しました

【平成30年12月1日】

愛媛大学大学院農学研究科では、これまで基礎研究で培ってきた技術やノウハウを、愛媛の柑橘産業のイノベーションに繋げ、平成30年7月に発生した西日本豪雨災害からの柑橘産業の復興はもとより、この分野のさらなる成長に資することを目指して、12月1日に附属柑橘産業イノベーションセンターを開設しました。



このセンターでは、学内施設である愛媛大学防災情報研究センター、農学研究科附属食品健康科学研究センターをはじめ、愛媛県の農林水産研究所とも連携をしながら、被災農地の復興、再編整備等の過程における防災対策を踏まえた助言に取り組むほか、農家に対して現状調査や意識調査を行ってニーズを発掘し、本学が持つ技術やノウハウ等とのマッチングを図っていきます。また、柑橘産業のさらなる成長に資するため、今後発生が予想される災害に対応できる園地や水管理システムの整備、IT技術を取り入れた園地整備、野生動物対策型園地整備等のモデルをそれぞれ提案できるよう取り組んでいくほか、新しい栽培技術開発や品種改良、六次産業化を見据えた新商品の開発、営農意欲のある農家への経営継続モデルの提案、柑橘産業関連人材育成に係る研修・リカレントプログラムの企画などを目指していきます。

